

熊本大学大学院法曹養成研究科  
平成26年度第1期募集 法律科目試験問題

## 刑事訴訟法

平成25年9月1日(日) 10:55~11:40

### 解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は1枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答は横書きにして下さい。解答用紙の追加・交換はしません。
5. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
6. 問題の内容に関する質問には応じません。
7. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【問題】以下の事例を読んで、問いに答えなさい。（配点：40点）

被告人Xは、自動車を運転中、前方左右を注視してその安全を確認しつつ進行すべき注意義務を怠り、漫然と進行した過失により、前方の横断歩道を横断中の歩行者Aの発見が遅れ、自車前部をAに衝突させて転倒させ、Aに加療約3ヶ月を要する傷害を負わせたとの自動車運転過失傷害罪の訴因により起訴された。第1審での審理において、Aが事故の約11時間後に死亡していることが判明した。裁判所は、検察官に対して、自動車運転過失致死罪への訴因に変更するよう促したが、検察官はこれに応じなかった。

○ 裁判の言渡しも含め裁判所の採るべき対応について論じなさい。

以上